

CENTENARY

2008. 9. 24

第 12 号

兵庫県立加古川西高等学校



教育目標 人格の形成

体育大会

第60回体育大会が、9月21日(水)に開催されました。

17日の体育大会予行時には、台風13号が迷走中で、直撃も十分予想されていきました。

予行終了時の「北京オリンピックでは、好天候を作り出すのに、ロケットを2000発も打ち上げられた。本校では、ロケットの代わりに、生徒全員の気持ちを空に向かって打ち上げよう」との掛け声通り、生徒や関係者の心が天に届いたのか、奇跡さながらに、台風は進路を変え、予定通りに開催することができました。



本来、残暑が厳しい時期ですが、台風の余波で曇り空、そして少量の降水、微風という好コンディションのもとで、競技は進行しました。



競技内容は、徒競走の100m・200m競争から各種リレー。そして、ネーミングにふさわしい竹取物語や青春謳歌リレー、チームワークと練習量がものを言う20人21脚、3年生の特権ともいえるフオークダンスなどが繰り広げられました。



また、保護者の方や教職員の競技への参加で、生徒や観客からも歓声が上がりました。



総合順位は、3年1組と2年7組が同得点になり、優勝が2クラスとなりました。3位に3年4組が入賞し、3年生が最上級生としての意地を見せました。



ちょっと一言 東京大学の在學生に質問をしました。「いつから東大に行こうと決めたの?」「2年生のときに大学を見に行き、そのときからです。絶対に行きたいと強く思いました」「2年生のときから成績がよくなったんだ?」「いや、部活もしていましたので圏外の成績でした」「じゃ、いつから勉強を始めたの?」「部活を引退した6月からは、自分で言うのもなんですが、必死でやりました」部活動でも同じことがいえます。戦う前に相手の強さを認めてしまい、「勝つ」気が弱いことがあります。最初の一步は、目標達の強い意識を持つことです。必勝(克)の心